

B 表

平成 17 年度 共通教育 授業内容表

授業科目 農業機械技術史		授業のテーマおよび目標 戦後の食糧難から食料生産の効率的な技法が求められ、人力・畜力を経て機械化へと発展してきた。しかし効率的な精算を求めるあまり環境への配慮がおろそかになった事も否めない。本講義では持続可能な農業の中で機械化技術の発展過程を概説し、将来に向けた農業機械化の方向を示す。
英文名 Technology Development in Agricultural Mechanization		授業内容 講義では、適宜資料を配付する他、パワーポイント、ビデオ教材等も利用する。
主題：I 分野：社会		1．講義の進め方と講義の目的について説明及び日本の農業・世界の農業日本農業の特徴と世界農業における農法・技術の相違、歴史的発展過程について解説する。 2．世界の米と稲作農業農業の中でも特に稲作農業に的を絞って講義する。 3．キーリ・ソースとしての米の利用 4．農業機械化の歴史的背景（日本及び世界） 5．農業動力（種類、機能、機構） 6．植え付け作業（直播栽培と移植栽培） 7．収穫作業（刈り取り・脱穀） 8．米の流通 9．乾燥・もみすり・精米作業と機械化 10．稲作農業政策（過去と現状） 11．新しい農業機械 12．農業ロボット 13．精密農業 14．世界貿易機構（WTO） 15．期末試験
2 単位		
前 期	後 期	
金 曜日 5 ~ 6 時限	曜 日 ~ 時限	
担当教官 伊 藤 信 孝		教科書・参考書 「後日示す」 成績評価の方法 「最終レポート70%，途中レポート20%，出席10%」 「欠席4回以下を前提として期末テスト80%，途中レポート20%」。
		その他 講義中の質問など積極的な姿勢を評価します。

